

直方一中 光り 誇り あり

3月

令和3年 第10号
文責 校長

祝
令和三年三月十四日
直方市立直方第一中学校
卒業証書授与式

卒業生の皆さん 今まで本当にありがとう

3月12日(金) 有終の美を飾る感動の卒業式でした

来賓の皆様や保護者の皆様をお迎えし、令和2年度 第74回 卒業証書授与式を挙行了いたしました。今年度は、コロナ禍の影響により、内容の縮小や時間の制限等を余儀なくされた卒業証書授与式でしたが、卒業生は、それをものともせず、卒業生全員が一つになり、例年以上の素晴らしいものを創り上げ、直方一中の良き文化を引き継ぎ、そして、更に良いものをつくり、後輩たちに残してくれました。卒業生がひな壇に並び、心を込めて歌い上げた「大地讃頌」あの合唱が物語っています。途中で感極まり涙ぐむ卒業生。その姿に参加者の多くが思わずもらい泣きし、会場全体が感動の涙に包まれるという状況となりました。学校づくりに貢献した卒業生の皆さんに感謝し、敬意を表します。ありがとうございました。



♡卒業証書授与♡

卒業生代表



♡記念品贈呈♡

卒業生代表



♡PTA会長祝辞♡



3年生の皆さん「卒業おめでとうございます」

保護者の皆様 PTA 活動にご理解ご協力頂きまして

ありがとうございました。義務教育を終え、色々な方向へ巣立っていく皆さんにお祝いの言葉を送ります。皆さんは沢山の可能性を持っています。その可能性は無限大です。高2の生徒との会話で将来スタントマンに成りたいと夢を語ってくれました。じゃどうすれば成れるかなと話している中で未来予想図を作ろうと提案しました。お金が無い、じゃ25歳でなろう。まずは、高校を卒業して5年間働いて貯めよう。その間に専門学校あるのか。それは福岡にあるのか東京しかないのか、他になれる可能性を沢山探そう、そして将来映画に出たい。そんな夢を未来予想時にしてくれました。運命も奇跡もありません。皆さんの可能性は無限大です。最後になんでも鑑定団のおもちゃ鑑定士北原さんの言葉を送ります。「体は食べた物で作られる」「心は聞いた言葉で作られる」「未来は話した言葉で作られる」卒業おめでとうございます。

♡在校生送辞♡



少し前までは、冷たかった風も、暖かく穏やかな春風へと変わり、澄み渡る青空に春の訪れを感じる頃となりました。そんな今日の佳き日に、直方第一中学校を旅立たれる皆様、ご卒業まことにおめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

先輩方の事を思い浮かべると、生徒会、体育会、文化展などで活躍しているたくましい姿が思い出されます。まず、文化展での先輩方の歌声です。先輩方が二年生の時の文化展の練習の際、一年生と二年生でそれぞれ歌を聴き合う機会がありました。その時のとても綺麗で、息の合った完成度の高い歌声を聴いて、私は圧倒されました。そして、上級生の威厳を見せつけられたのと同時にやる気も更に出て、先輩方の歌を越してやるという勢いで合唱に励むことができました。

体育会のブロック応援では、細かい動きやダンスなどを優しく丁寧に教えていただきました。

また、私達ができていない所を直すために何をすればいいのかを細かく教えてくださり、私達もそのアドバイスを受けて、期待に応えられるよう頑張ろうと思うようになりました。先輩方が体育会をより良いものにしようと一生懸命に取り組んでいる姿を見て、先輩方にとって最後の体育会を最高の物にできるよう、最大限、力になりたいと思いました。

そして体育会が終わった後も、本番や練習の日々が私の中でとても大切に思い出となりました。そう思えたのは、先輩方の体育会にかける熱量が高く先輩方に対する後輩達からの信頼、みんなから慕われていたからだと思います。先頭に立って素敵な体育会を作って下さり、ありがとうございました。

今、先輩方は、直方第一中学校での三年間を思い出し、胸がいっぱいになっていることでしょうか。これから先の人生でも、大きな壁が立ちだかる場面があると思います。その時は、今まで経験してきた事を活かし、自分自身を信じて突き進んでください。辛いと思ったら直方第一中学校に遊びに来てください。そうすれば中学校での三年間を思い出し、より頑張ろうと元気付けられると思います。

今度は、私達が学校を引っ張っていく立場になります。先輩方の頼もしい姿や学んだ事を生かし、皆が何事にも一生懸命頑張れる、より良い学校を築き上げていきます。また、自分や周りの人達を大切に、思いやりの気持ちを忘れずに頑張ります。先輩方と楽しい学校生活を過ごすことができ、本当に嬉しかったです。先輩方と過ごした日々は、私にとって宝物です。先輩方が、それぞれの道で羽ばたき夢を叶えられますようお祈りいたしまして、送辞とさせていただきます。

令和三年三月十二日
在校生代表



♡卒業生答辞♡



桜のつぼみが開き始め、春の暖かさが待ち遠しい季節となりました。そのような佳き日にすばらしい式を挙げていただき、誠にありがとうございます。

三年前の四月、私達はふれあい学級に行きました。入学したばかりで小学生の時から友達としか話すことができませんでした。私は自分から積極的に人に話しかけることができない自分を変えたいと思っているのに、なかなか行動に移せずに悩んでいました。そんな時、生徒会執行部の先輩方と出会いました。先輩方の姿は、私がなりたいと思っている姿そのもので、強い憧れを抱き、執行部に入ることを決意しました。二年次の生徒会選挙にも立候補し、憧れの先輩と同じ、書記になることができました。生徒会の仕事を行っていきなかに段々と自分に自信をもつことができるようになってきました。

一年次の体育会のダンス練習やブロック練習を通して、クラスの人との絆が深まっていっていることを実感しました。体育会当日の最後には、先輩方が泣いている姿を見ました。私たちのブロックは惜しくも負けてしまい、その悔しさに涙を流す先輩方を見て、私は、この人達と体育会ができて良かったと心から思うことができました。そして文化展。私達は先輩方の教室へ行き、歌を聴きました。先輩方の歌声は私達の何倍も美しく、力強いものでした。このことがきっかけで、私の心の中の「もっと頑張ろう」という気持ちが大きくなりました。それから私達は、毎日歌の練習に励みました。そして迎えた文化展当日。私達は、今までの練習の中で、一番の力を出して歌いました。残念ながら、賞を取ることはできませんでしたが、それ以上にクラスの団結力の高まりを感じました。

修学旅行では、アブチラガマやひめゆりの塔などに行き、戦争について学びました。戦争の残酷さ、悲惨さ、目を背けたくなるようなこともたくさんありました。しかし、友人と共に学んだので、心の中に様々なものが残りました。

最後に、共に入学し、出会って三年、毎日会うことが当たり前になっていた友達。他愛のないことを話したり、笑ったりすることも今日が最後だと思うと寂しくなります。「例年よりも、三か月も少なかった一年でした。」もっと皆と話したかった。もっといろんな事がしたかった。したかったことがたくさん思い浮かびます。しかし、それ以上に楽しく、私の一生の思い出になるものでした。この一年間を楽しく過ごすことができたのは、すばらしく大切な仲間がいてくれたからです。今まで本当にありがとうございます。これから、私達は初めて自分で決めた道を歩いて行きます。今後、大きな壁にぶつかっても、直方第一中学校での日々を思い出して、力強く進んでいきます。

すばらしい仲間との出会い、かけがえのない時をくれた直方第一中学校、私たちのために温かな卒業式を挙げてくださった皆様方、本当にありがとうございます。心からの感謝を申し上げ、答辞とさせていただきます。

令和三年三月十二日
卒業生代表

♡巣立ちの言葉♡



私は三年間の中学校生活で、たくさんを経験すると同時に、友人の大切さを実感しました。学校生活では、一緒に学ぶ友人、話す友人、一緒に帰る友人がいて、とても充実していて幸せでした。なかでも、部活動では、きついことや辛いことがあっても、チームメイトがいたから、辞めずに続けることができました。これから始まる高校生活でも、私が続けていきたいことは、近くにいる友人を大切にすることです。そのうえで、高校での目標は、まだ決まっていない将来の夢をはっきりさせることです。趣味である絵を描くことを続けながら、大学進学を目指します。

最後に、私はこれまで多くの人に支えられてきたことを忘れずに、感謝の気持ちを持ち、直方第一中学校の卒業生として、胸を張って、生きていきます。

三年二組 代表



私は、中学校生活で二つの事を頑張りました。一つ目は、部活動です。二つ目は、勉強です。私がこの二つの事を頑張れたのは、色々な人たちの支えがあったからだと思います。部活動では、顧問の先生が毎日の部活動で指導していただき、またチームメイトとは切磋琢磨し、毎日の部活動に励んだため、充実した三年間の部活動生活を送れたのだと思います。そして、勉強においては、私が全力ですべての授業に取り組むうえで、先生方がサポートをしてくれたため、三年間の勉強を頑張ることができたのだと思います。この二つのことは、先生方だけでなく、家族の支えなしでは、頑張ることはできませんでした。

私の将来の夢は、弁護士になることです。この夢の実現に向け、中学校の時のように高校でも、日々の勉強や部活動に励みます。そして、色々な人たちに支えられていることが当たり前ではないということを忘れずに高校生活を送っていきます。

三年一組 代表

